

別記様式(第5条関係)

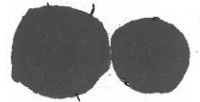


平成 30年 4月 25日

南国市議会議長

岡崎 純男 様

議員名 神崎 隆代



平成 29 年度政務活動費収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、別記様式・その2
のとおり平成 29 年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動費収支報告書

議員名 神崎 隆代

平成29年度政務活動費収支報告書

1 収 入

政務活動費 120,000円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	45,760	研修会参加経費
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	11,664	書籍購入費
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	57,424	

3 残 額 62,576 円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

第1号様式

平成 29 年度 政務活動費 出納簿

議員名 神崎 隆代

(四)

[illegible]

※項目…	1. 調查研究費	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費	5. 要請・陳情活動費
	6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費		

活動に要 した経費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)
	後免駅～唐崎	JR、湖西線	往復運賃	22,960
	研修参加経費	研修費、宿泊費、食費		15,800
	日 当	1,000×3(5/16. 17. 18) 2,000×2(5/15. 19)		7,000
	その他			
	合 計			45,760
備 考				

議員名 神崎 隆代

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政 務 活 動 記 録 簿

整理 番号	1	項目	1. 調査研究費 4. 広聴費	② 研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年月日	平成 29 年 5 月 15 日 (月) ~ 平成 29 年 5 月 19 日 (金)				
相手方・ 調査先等	研修会「新人議員のための地方自治基本コース」 (主催：全国市町村国際文化研修所 (JIAM))				
場 所	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県 大津市)				
活動内容 等 (目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	市町村議会議員研修 [5 日間コース] 地方自治の仕組みや議会の役割など、議員として理解しておくべき基本的事項に加え、政策法務や自治体財政について基礎から学ぶことと演習を通して、全国から集った新人議員との情報交換により他の自治体の取り組みなどを学ぶことを目的に参加した。 ○講義 地方自治制度の基本について 首都大学東京大学院社会科学部 教授 大杉 覚 ○講義 地方議会制度と地方議会改革の課題について 山梨学院大学大学院社会科学部 教授 江藤 俊昭 ○事例紹介 議会・地域・住民による地域課題解決の取り組み 地域再生マネージャー 斉藤 俊幸 ○講義 地方議員と政策法務 ○演習 条例演習・意見交換 ○演習 発表・全体討議・まとめ 東北大学大学院法学部 教授 荒井 崇 ○講義 地方議会と自治体財政 ○演習 意見交換・質疑応答 北海道総合政策部地域創生局地域づくり担当局長 今井 太志 ○分権時代の地方議員に期待されていること 全国市町村国際文化研修所 教務部長 関西学院大学経営戦略研究科 教授 松藤 保孝 事前の資料準備からすでに研修が始まっていると感じた。演習では準備してきた過去 10 年の資料から各自が自治体の財政状況の推移を表にしたり、グループごとに議会基本条例案の骨子案作成をし、発表を行うなど内容の濃いものであった。講義では、議会の本来のあり方や、議会改革を通して住民自治をすすめていくこと等の話が合った。地方議会の役割等の理解を深める研修となった。				